

はなさき分校「身に付けたい力」の指標

	領域	小学部 社会参加を促す興味・関心の拡大型	中学部 将来の就労をイメージ(夢)形成期	高等部 自ら課題解決に向かう実践力の育成期
生活する力	生-1 身辺自立	日常生活に必要な習慣作り ●基本的な生活習慣を身につけることができる (着替え、清潔など)	社会生活に必要な習慣形成 ●社会を意識した生活習慣を身につけることができる。 (身だしなみ 作業服、エプロンなど)	職業生活に必要な習慣形成 ●TPOに合わせた行動を身につけることができる。 (TPOとは時と場所、場面に応じた行動・服装等の使い分けができるなど)
	生-2 作業への意欲・関心	意欲的な活動への取り組み ●自分から意欲をもって活動できる。	様々な活動への自発的な取り組み ●自分の好きな活動をもつことで自発的に取り組むことができる。 (様々な場面で充実感や達成感を味わわせることで学習意欲へとつなげ自発的な態度を育みたい)	就労を意識した主体的、実践的な取り組み ●実践的な取り組みの中で、働くことを意識しながら、積極的に行動することができる。
	生-3 自己選択、判断する能力	自分の好きな活動の選択 ●自分で好きな活動を選ぶことができる。	自己の個性や興味・関心に基づいてよりよい選択 ●自己の興味・関心に基づいて経験を積み重ねることで主体的に選択することができる。	状況に応じた選択や判断 ●様々な状況に応じて目標達成、問題解決に向けた選択や判断ができる。
	生-4 目標設定・振り返り	活動の見通しと振り返り ●活動の様子を写真・絵カードを用いて見通しを持つことができる。 ●学習活動終了時に「頑張ったこと」「楽しかったこと」の振り返りができる。	具体的な目標設定と振り返りを次に活かそうとする態度 ●自分の目標を設定することができる。(振り返りシートを活用等) ●活動を振り返り、次回に活かそうとすることができる。	活動の目標設定、自己評価、課題解決 ●活動内容をふまえて、自分で目標を設定することができる。 ●自己評価によって改善点に気づくことができる。 ●振り返りによって、課題解決のための目標を再設定することができる。(振り返りシートを活用等)

はなさき分校「身に付けたい力」の指標

	領域	小学部 社会参加を促す興味・関心の拡大期	中学部 将来の就労をイメージ(夢)形成期	高等部 自ら課題解決に向かう実践力の育成期
人(社会)と関わろうとする力	人-1 コミュニケーション	日常生活に必要な挨拶や意思の表現		
		●自分なりの表現で挨拶ができる。 ●友達や先輩など、身近な人とのコミュニケーションをとることができる。	社会生活に必要な意思の表現・言葉遣い ●相手や場の状況を踏まえた挨拶、言葉遣いができる。	相手や状況に応じた適切なやりとり ●TPOに合わせた挨拶や言葉遣い、会話ができる。 ●来校者や学校以外の社会人と適切なやりとりができる。
	人-2 役割意識の形成	自分がやるべき活動の理解		
		●自分の行う活動が理解でき、自分の役割を果たそうとすることができる。 ●最後まで活動に取り組むことができる。	自他の役割の理解と協力 ●困った時には他者から教えてもらったり、他者が困っている時には助けたりしながら、協力して役割を果たすことができる。	責任ある役割遂行 ●自分の役割を理解し、責任をもって取り組むことができる。 ●所属する集団の中で、他者へ働きかけながら役割を果たすことができる。(報告・連絡・相談、教え合い等)
人-3 自己・他者理解	自分の良さへの気づき、仲間や先輩への関心			
	●自分の得意なことがわかる。 ●身近な先輩や他者に関心を示し、関わるることができる。	肯定的な自己理解、相手の気持ちや考え、立場の理解 ●生徒が達成感を味わい、自らを肯定的に理解する経験を積み重ね、自己理解を深めることができる。 ●異性や先輩、後輩などの気持ちや関わり方を考えることができる。	達成感に基づく自己有用感、他者の考えや個性の尊重 ●達成感や成就感がもてるような体験の積み重ねを通して、肯定的に自分を捉えることができる。 ●相手の気持ちや立場を理解し、思いやりの心を持つことができる。	
人-4 集団参加する態度	異年齢集団への参加・活動			
	●異年齢集団の中で一緒に活動する楽しさを味わうことができる。	集団に合わせた活動 ●自分や仲間の作業内容の関連性を理解し、集団で取り組む満足感を味わうことができる。 ●集団として目的を共有し、協力しながら活動に取り組むことができる。	地域(社会)参加・貢献を意識した活動 ●協力、協働を進めるにあたり、班や係、集団(チーム)の一員として自ら積極的に参加することができる。 ●学んだことを活かして、地域(社会)に視野を広げた取り組みができる。	